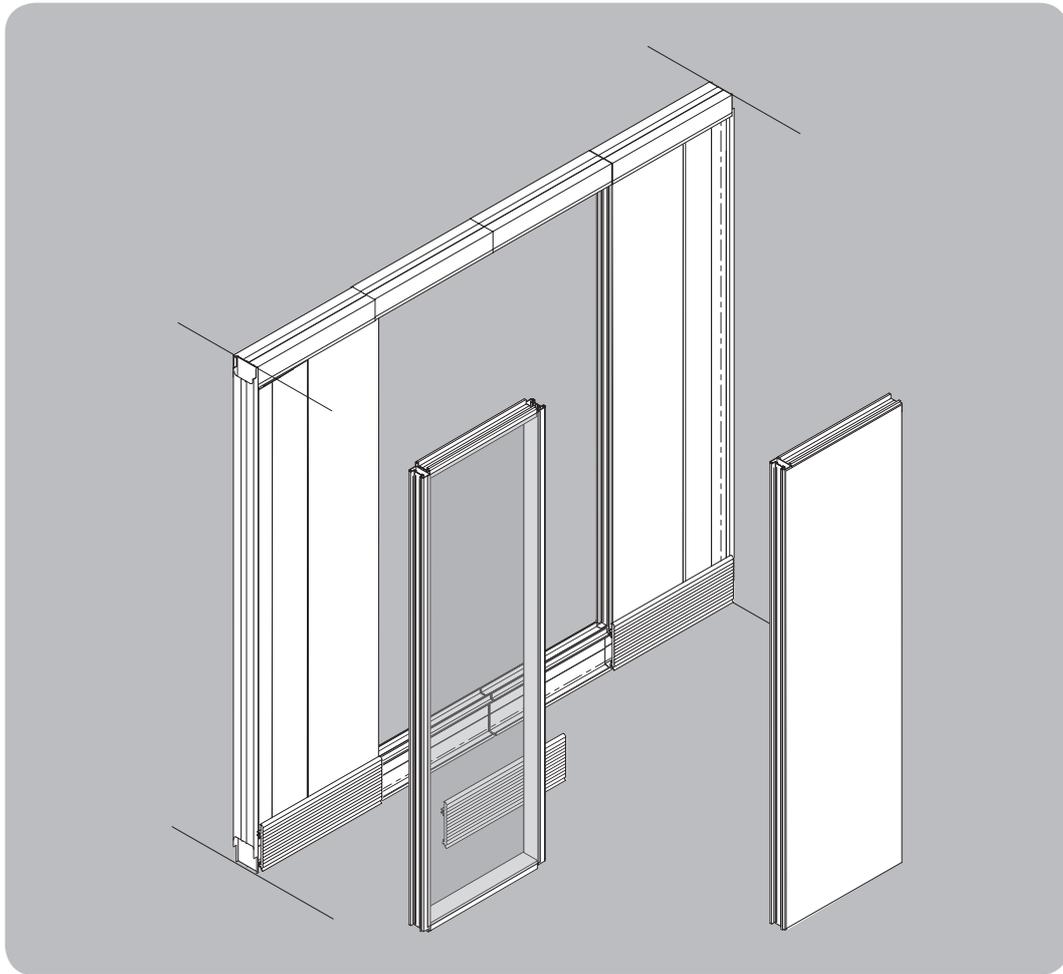


アルミインテリア建材 ビュライ 可変間仕切壁

スタイルシフトウォール

取扱い・取付け説明書



取付けにあたって

この説明書では、お客さまの安全と製品を正しく取付けていただくための、組立ておよび取付けについて、重要な内容を記載しております。

ご留意いただき、取付けてください。

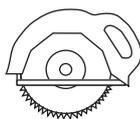
保証内容在中

この取付け説明書には保証に関する重要な内容が記載されています。取付け完了後は必ずお施主様にお渡しください。

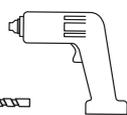
目次

<使用工具・用具>

電動丸のこ



電気ドリル

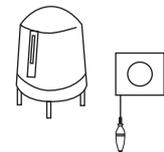


ドリル刃

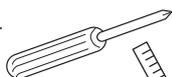
φ3.5 (鉄工用)
φ5.0 (鉄工用)



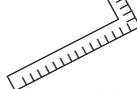
レーザー墨出し器、
下げ振り



プラスドライバー
#2



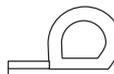
金尺



マスキングテープ



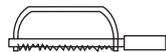
コンベックス



プラスチックハンマー



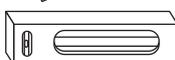
金ノコ



ヤスリ



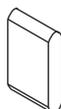
水準器



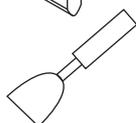
鉛筆



木片 厚さ4mm程度
(角がとれているもの)



ヘラ



ウエス

ニッパー

ハサミ

脚立

<推奨工具>

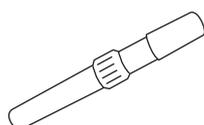
プッシュマジック

※. 石膏くぎを打ち付ける際の推奨工具



one-push (ワンプッシュ)

※. 天井下地材を確認する際の推奨工具



■取付けされる方へのお願い	1
■部材構成	2・3
■納まり図	4~8
■各部の名称	9

■設置条件及び確認	10・11
■コンセント仕様の条件及び確認	12~14

1 位置出しとマーキング	15・16
2 壁当りAの取付け	17・18
3 上ランナーの取付け	19~21
4 下ランナーの取付け	22~25
5 壁当りB・Cの取付け	26・27
6 パネルの建込み	27・28
7 方立の取付け	29・30
8 目地カバーの取付け	31
9 幅木カバーの取付け	32

10 ダブル壁の取付けについて	33~36
11 取付け後の製品確認と養生	36
12 移設について	36

13 商品保証について	37
-------------	----

取付けされる方へのお願い

- この説明書は必ず取付けされる方にお渡しください。
- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲ 注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲ 注意

- 思わぬケガや事故につながりますので下記事項をお守りください。

<取付け時>

- ・設置及び移設は当社指定の業者での取付けとなります。当社指定以外の業者で行わないでください。
- ・ねじ類の締結部品及び個所は必ず指定工具で全てゆるみなく止めてください。
- ・設置及び移設予定個所には天井下地補強材が必要になります。ねじは必ず天井下地補強材に止めてください。
- ・改造は行わないでください。また、指定部品以外は使用しないでください。
- ・天井補強下地材は、40mm角以上の木材を使用してください。
- ・コンセント仕様の場合、電気工事士の資格が必要になりますので、必ず電気工事店様にご依頼ください。

<取付け後>

- ・取付け完了後、ゆるみやガタツキ、及び使用上不具合や危険な個所がないかを確認してください。また、商品にキズやヘコミなどがないかを確認してください。
- ・分解や改造は絶対にしないでください。
- ・寄りかからないでください。

お願い

<設計及び取付け前>

- この商品は屋内専用の商品になります。屋外には使用できません。
- 確認申請時には、竣工時の間仕切りプランにて行ってください。移設後などのプランも考慮した建築計画をお願いします。(火災報知機など)
- コンロ周辺での設置には、消防法によりコンロからの距離などの規制がありますのでご注意ください。(詳細は各地域の火災予防条例によります)
- 不燃認定は取れていません。また、防火上有効な壁とはみなされません(家具と同じ扱いになります)のでアパートなどの界壁には使用できません。
- 省令準耐の対応について室内に面する部分に設置しても問題ありません。また可変間仕切壁を含まない通常の壁によって囲まれる室内空間を一室とみなすことができるため、可変間仕切壁に防火区画をする必要はありません。
- 浴室などの湿気の多い場所、水が直接かかる場所には使用しないでください。
- 壁や床の取付けが完了していることを確認してください。(後付タイプです)
- 設計図書にもとづいて可変間仕切壁の配置及び納まりを確認してください。
- 周辺の室内養生を十分注意して計画してください。
- 搬入経路を確保してください。
- 開梱時に構成部品の内容を確認してください。
- 商品に破損や異常が無いかを確認してください。
- 商品を投げたり、落としたりしないでください。破損や変形、キズの原因になります。
- 商品を踏みつけたり、重い物を上に置かないでください。破損や変形、キズの原因になります。

<取付け時>

- 商品や部品などの落下に十分注意してください。また、投げ渡したり踏んだりしないでください。
- 上ランナー取付けねじは $2 \sim 2.5 \text{ Nm}$ ($20 \sim 25 \text{ Kgf/cm}$)のトルクで締付けてください。

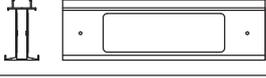
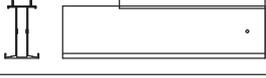
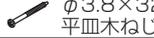
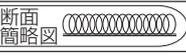
<移設時>

- 幅木カバー、目地カバーなどは消耗品扱いとし、移設時には交換が必要になります。また、寸法の異なる移設では部材の追加、破棄が必要となります。
- 撤去後、壁・天井にはピン跡及びねじ穴が発生します。クロス用のタッチアップによる補修を原則としますが、多少の補修跡が残るため、予めお客様に了解を得てください。
- 数年後に移設される際、周囲の床、壁、天井クロスなどが日焼けをして設置した場所との色の違いが生じる場合があります。その旨をお客様にはご理解を頂いた上でのご使用をお願いします。
- 数年後に移設される際、使用状況により壁、天井クロスがバッキン材と化学反応を起こし、設置していたクロスの表面に色の変化が生じる場合があります。その旨をお客様にはご理解頂いた上でご使用をお願いします。

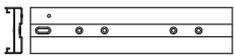
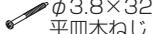
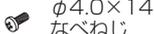
<取付け後>

- 引き渡し前に商品にゴミや異物の付着などが無いことを確認し、清掃を行ってください。
- パネルに画鋲またはねじを打たないでください。
- ボールなどをぶつけないでください。
- 暖房器具から発生する熱風・熱気が直接当たらないようにしてください。反り、変色などの原因、及び表面材が銅板のため高温になる場合があります。
- 本体に水、油、殺虫剤などが付着しないようにしてください。材料の特性により表面がふくれたり、しみ、変色などが発生するおそれがあります。

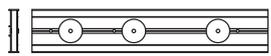
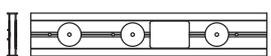
部材構成

■上下ランナーセット			シングル壁用			ダブル壁用				
	姿図		標準	コンセント有 (片面)	コンセント有 (両面)	コンセント有 (壁当り側)	標準	コンセント有 (片面)	コンセント有 (両面)	コンセント有 (壁当り側)
部材		上ランナー	1	1	1	1	2	2	2	2
		下ランナー	1				2			
		下ランナー (コンセント用)		1	1			2	2	
		下ランナー (コンセント 壁際用)					1			2
		幅木カバー	2	1		2	5	4	2	5
		幅木カバー (コンセント用)		1	2			1	3	
ランナー 部品 セット SE-1828		上ランナー取付けねじ	○	○	○	○	○	○	○	○
		隙間隠し材 (※)	○	○	○	○	○	○	○	○
		ジョイントプレート(※)	○	○	○	○	○	○	○	○
		ジョイントプレート(※) 取付けねじ	○	○	○	○	○	○	○	○
		メカニカルファスナー (ループ)	○	○	○	○	○	○	○	○
		メカニカルファスナー (フック)	○	○	○	○	○	○	○	○
		コンセント取付け裏板		○	○			○	○	
		コンセント取付け裏板 取付けねじ		○	○			○	○	

(※) 印の部品は余る場合があります。

■方立セット			
	姿図	名称	数量
部材		方立	1
方立取付け 部品セット SE-1829		方立固定ブラケット (※)	1
		方立固定ブラケット取付けねじ (上) (※)	1
		方立固定ブラケット取付けねじ (横) (※)	1
		ねじキャップ	6
		方立取付けねじ	6
方立上端 カバー セット SK-1683		方立上端カバー	1
		方立上端カバー取付けねじ	1
	本書	取付け説明書	1

■壁当りセット

	姿図		標準	コンセント有
部材		壁当りA	1	
		壁当りA (コンセント用)		1
		壁当りB	1	
		壁当りB (コンセント用)		1
		壁当りC	1	1
石膏釘 セット SE-1812		取付けピース	10	10
	 $\phi 1.0 \times 20$ ぐぎ	石膏ぐぎ	30	30
		タイト材	1	1
壁当り取付け ねじセット SB-3879	 $\phi 4.0 \times 8$ トラスねじ	縦枠アタッチ 取付けねじ	10	10
	 (L=2400)	吸音材	1	1
	本書	取付け説明書	1	1

(※) 印の部品は余る場合があります。

■一般パネル

姿図	名称	数量
	一般パネル (グレード1、グレード2)	1

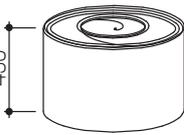
■シースルーパネル

姿図	名称	数量
	シースルーパネル	1

■目地カバーセット

姿図	名称	数量
 (L=2405)	目地カバー (※)	4

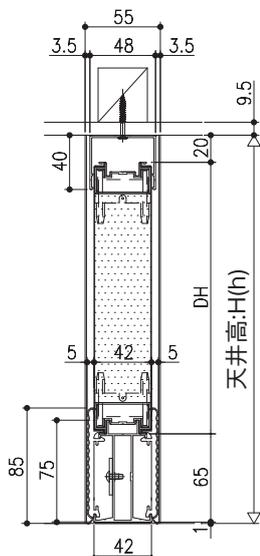
■ダブル壁用吸音材セット

姿図	名称	数量
 (L=14500)	吸音材 (※)	1

納まり図

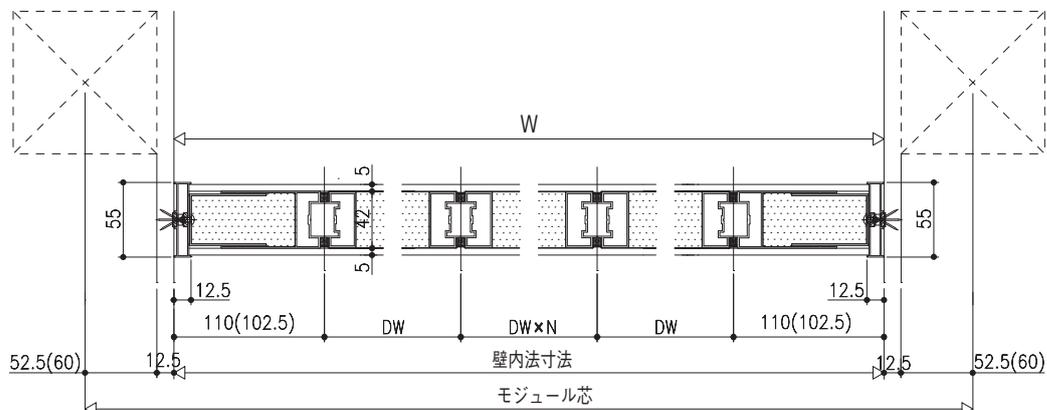
■壁-壁 <一般パネル> 基本納まり図

●縦断面図



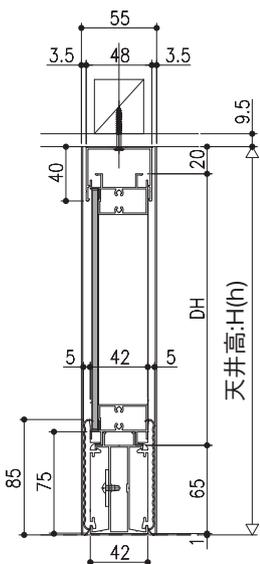
●横断面図

() 内寸法は、柱：120 角の寸法



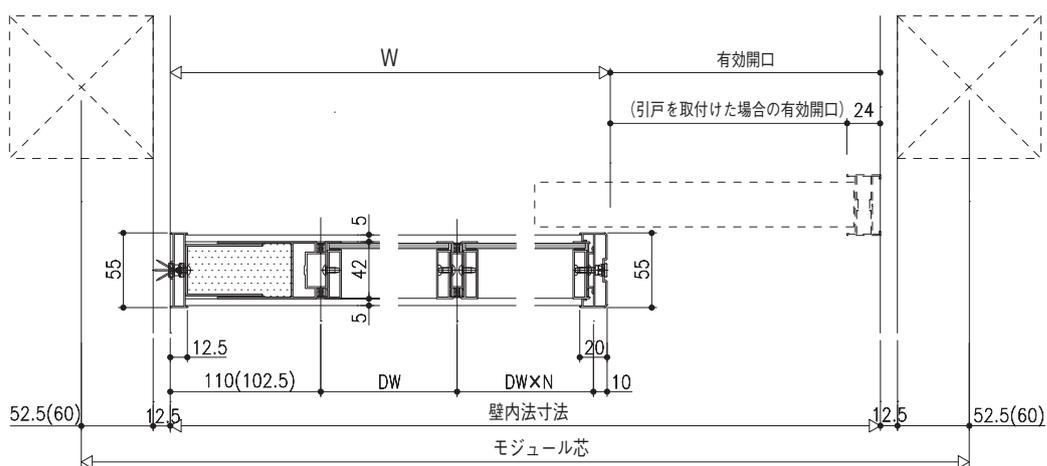
■袖壁 <シースルーパネル> 基本納まり図

●縦断面図



●横断面図

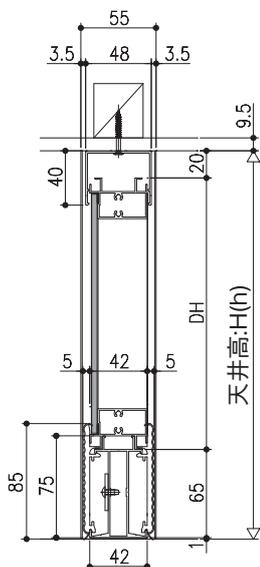
() 内寸法は、柱：120 角の寸法



※シースルー引戸を取付ける場合は、引戸の縦枠が付くため有効開口が24mm小さくなります。

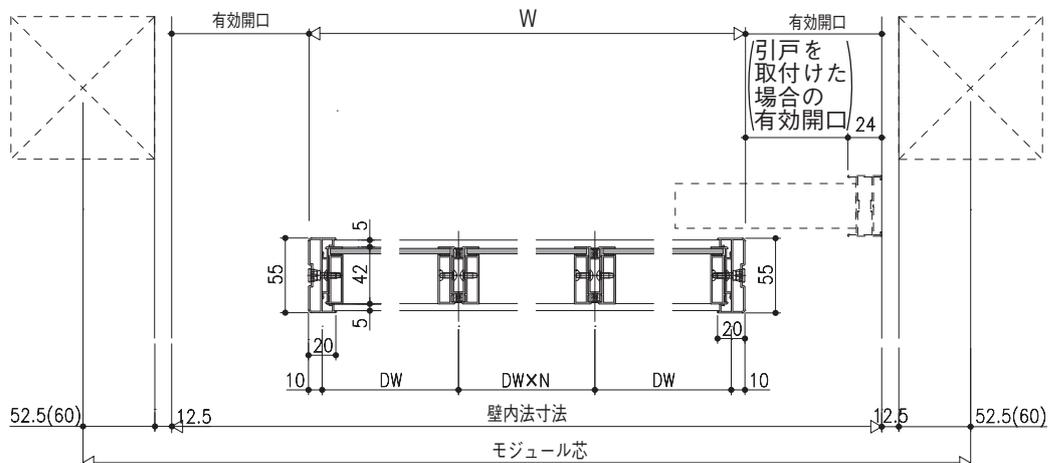
■独立壁 <シースルーパネル> 基本納まり図

●縦断面図



●横断面図

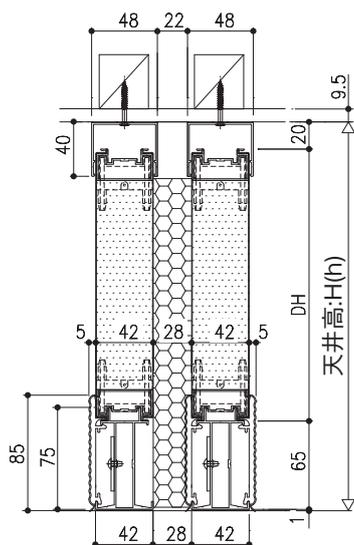
() 内寸法は、柱：120 角の寸法



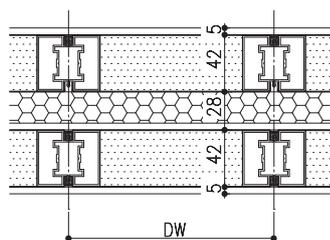
※シースルー引戸を取付ける場合は、引戸の縦枠が付くため有効開口が24mm小さくなります。

■ダブル壁 基本納まり図

●縦断面図



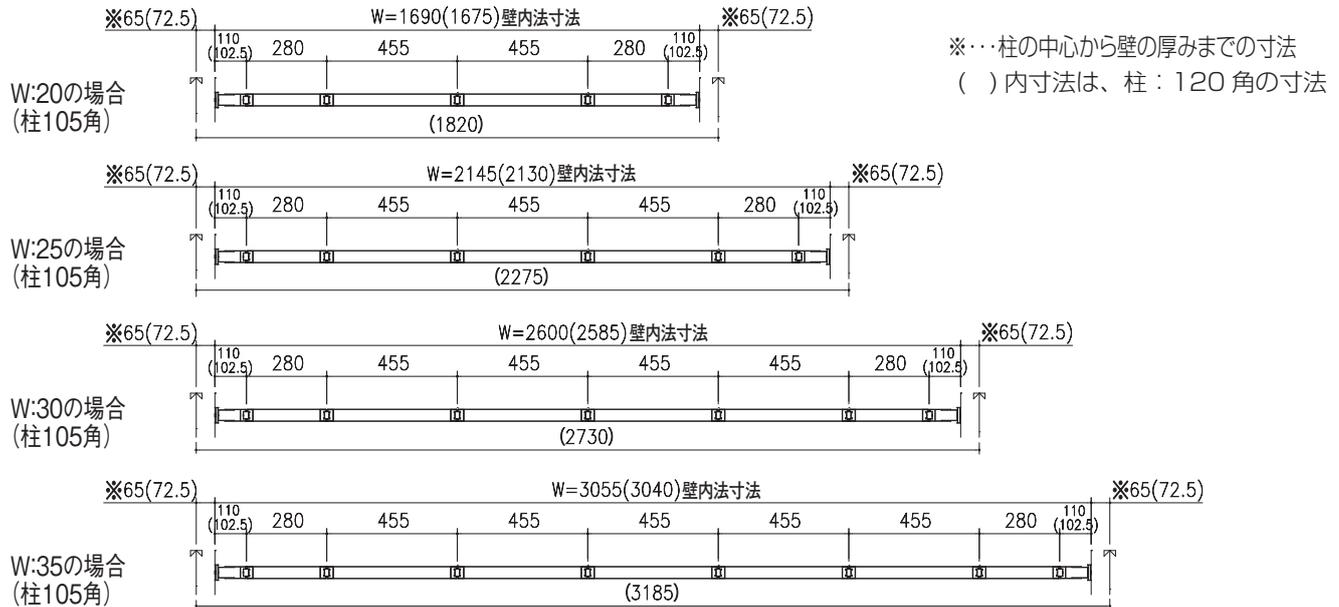
●横断面図



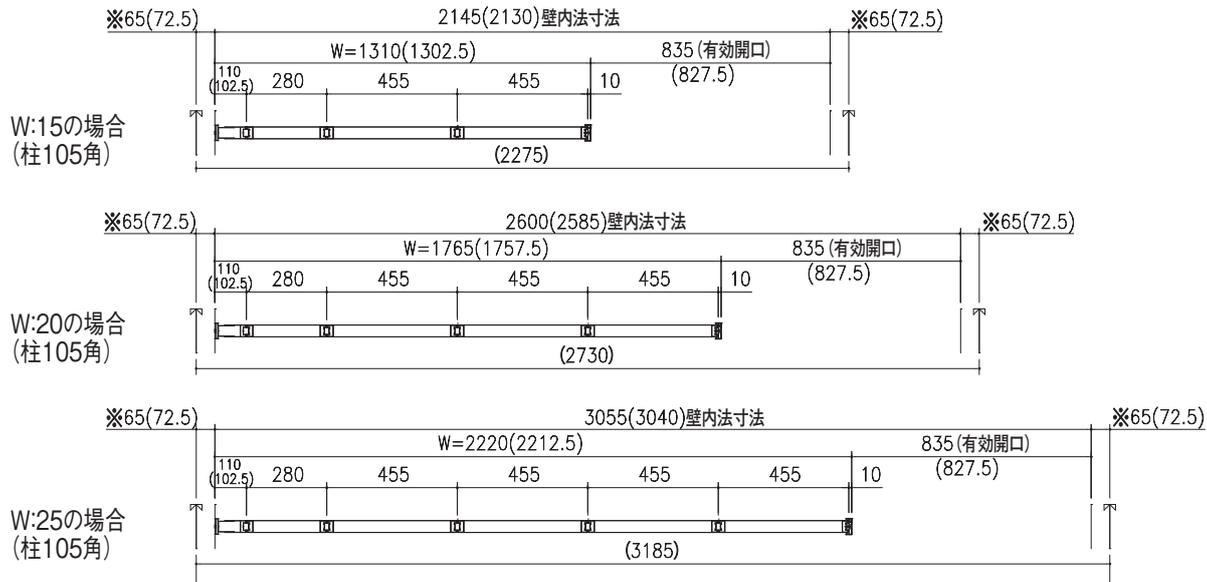
※ダブル壁の場合、「袖壁」「独立壁」納まりはありません。「壁一壁」納まりのみの設定になります。

●パネル割付例(尺モジュール)

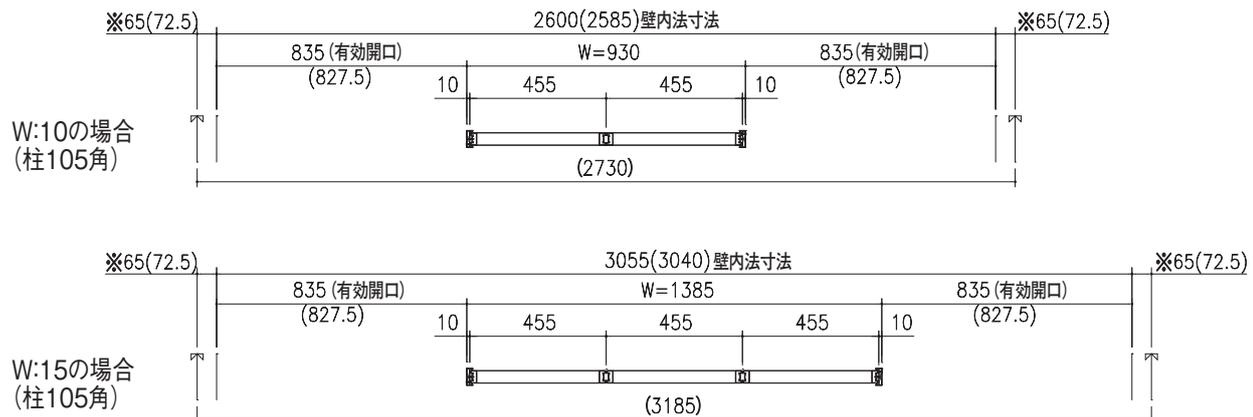
■壁-壁 (柱105角)



■袖壁 (柱105角)

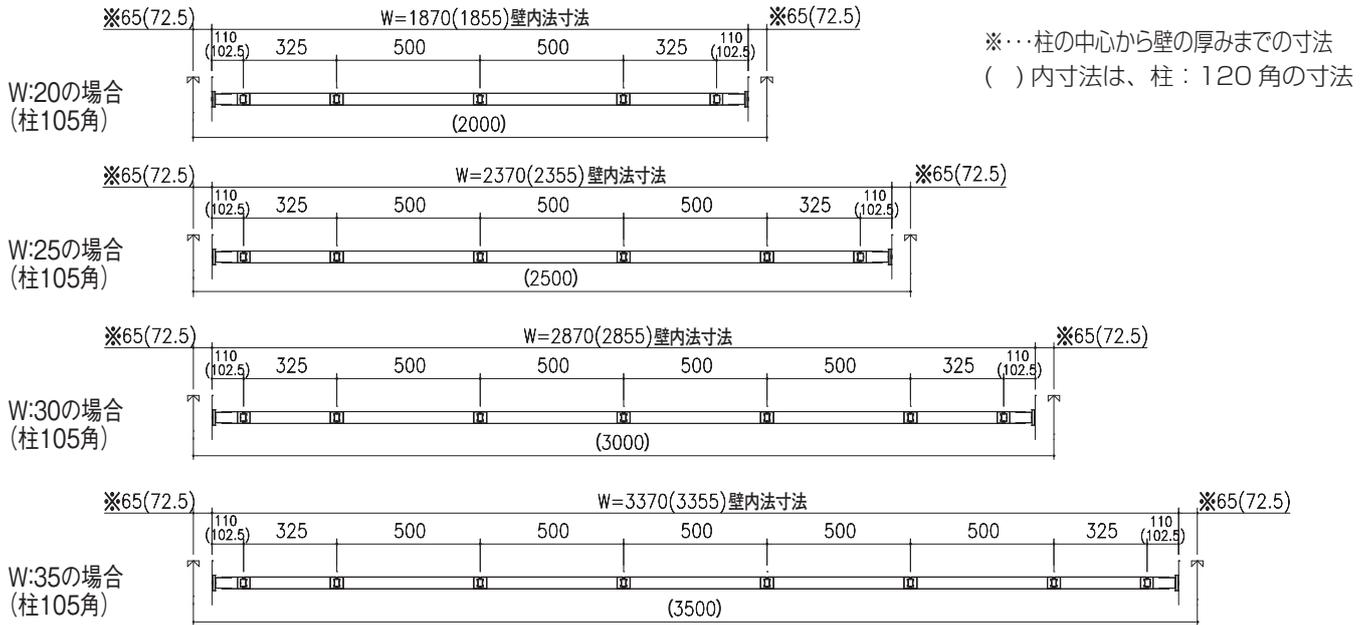


■独立壁 (柱105角)

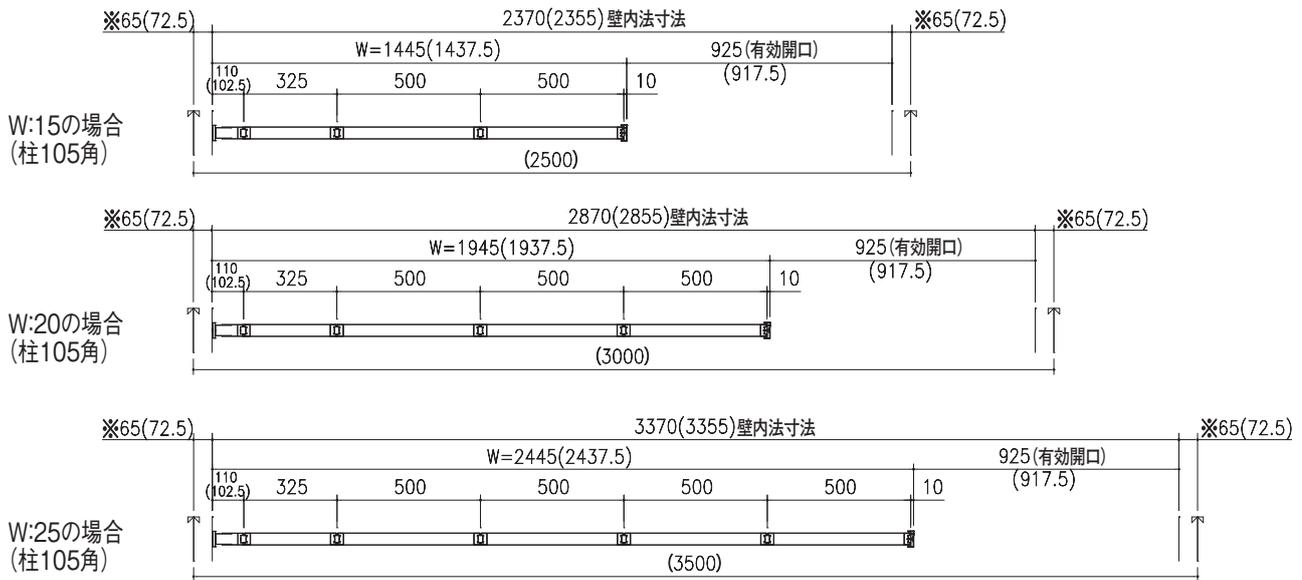


●パネル割付例(メーターモジュール)

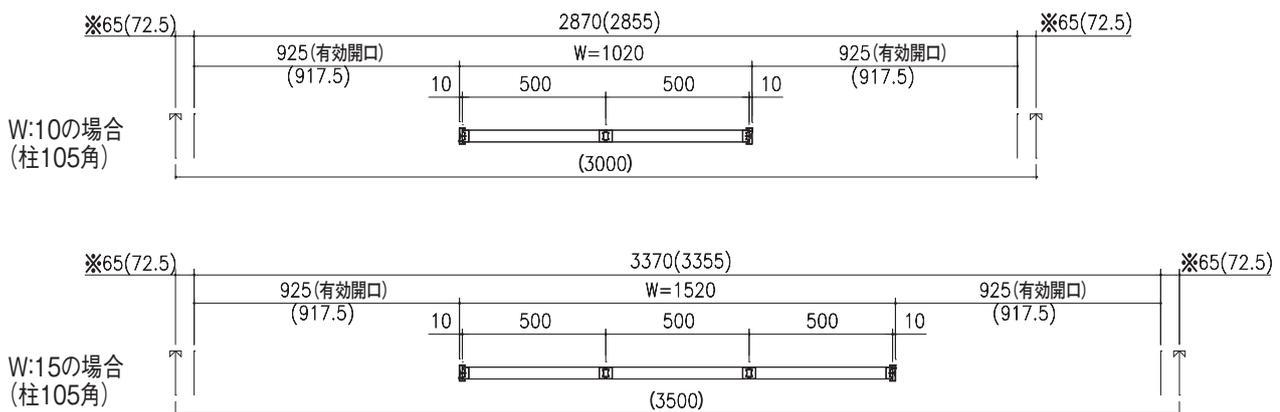
■壁-壁 (柱105角)



■袖壁 (柱105角)

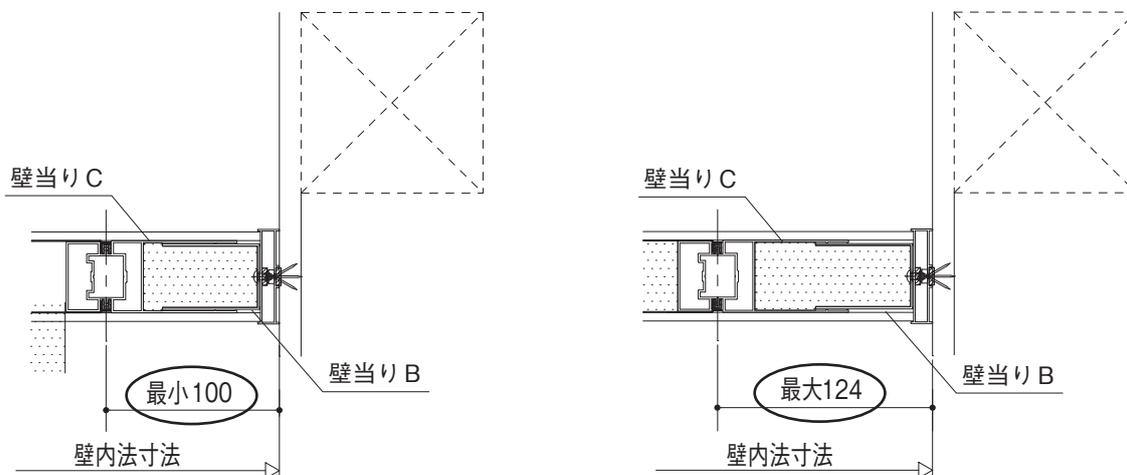


■独立壁 (柱105角)

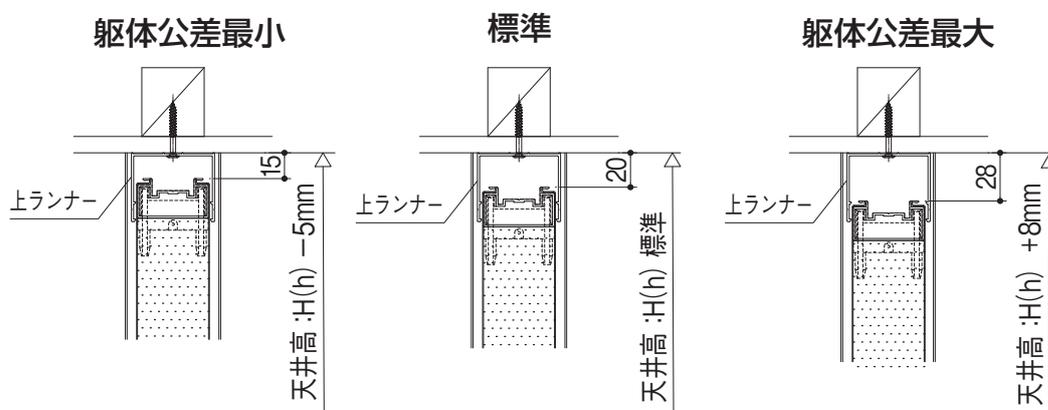


● 躯体と調整について

W方向 W方向は壁当り部の幅を、100mm～124mmの範囲で調整可能です。

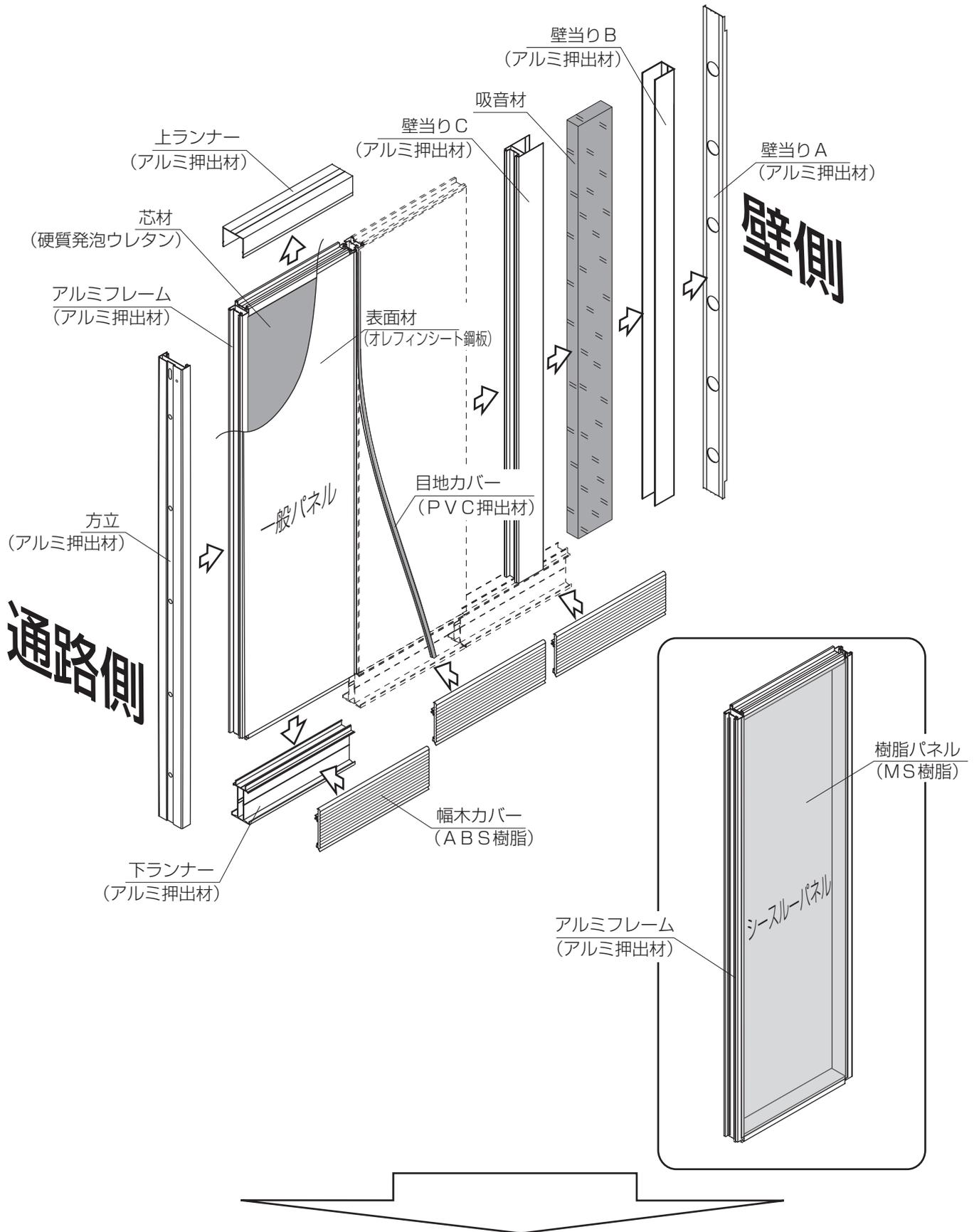


H方向 H方向は、上ランナーのみ込み部で、躯体公差+8mm，-5mmまで対応可能です。



各部の名称

■各部の構成と名称は下図のようになります。



パネルを樹脂製の目地カバーで連結することで壁を構成していくシステムです。
パネルをシースルーパネルにすることで、様々なバリエーションの展開が可能となります。

設置条件及び確認

1 床材、壁材、天井材の条件の確認

- ①. 床材がフローリングであることを確認してください。フローリング以外の、カーペット、コルクタイル、畳などの床材には対応していません。
- ②. 床材のワックスがシリコン系の場合、メカニカルファスナーの接着が十分に得られない場合があります。そのため、ワックスがシリコン系のものには対応していません。また、フローリングの表面塗料がセラミックの場合も対応していません。
- ③. 床暖房のある居室には取付けることはできません。
- ④. 壁材が石膏ボードでクロス張りであることを確認してください。その他の壁材には対応していません。
- ⑤. 天井材が石膏ボードまたは合板などのねじ止めできる材料であることを確認してください。

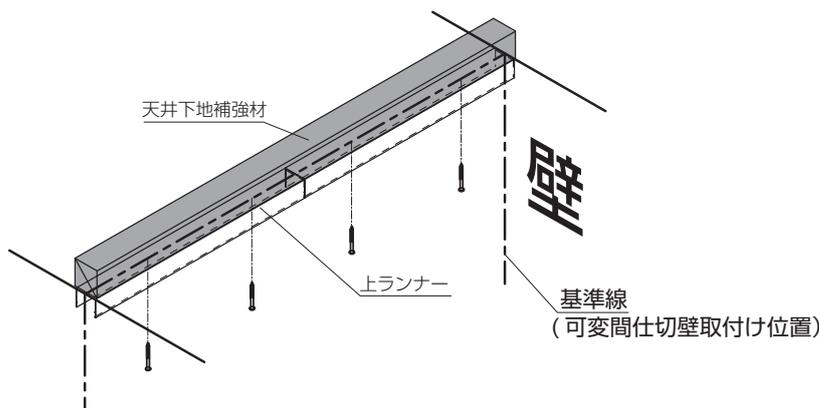
2 幅木、廻り縁の寸法の確認

- ①. 壁当り A は高さ40mm×厚さ7.4mmの幅木を想定した加工となっています。幅木がこのサイズを超える場合は、現場に合わせて加工を行ってください。
- ②. 壁当り A には回り縁用の加工がありません。回り縁が付いている場合は現場に合わせて加工を行ってください。
- ③. 幅木及び回り縁の厚さが10mm以下であることを確認してください。壁当り A の形材形状により、厚さが10mmを超えるものには対応していません。



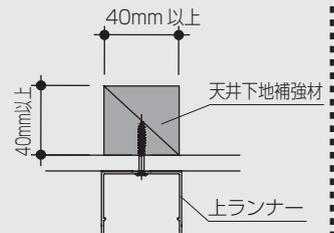
3 天井下地補強材の確認

- ①. 設置場所には天井下地補強材が必要になります。天井下地補強材が通っていることを確認してください。



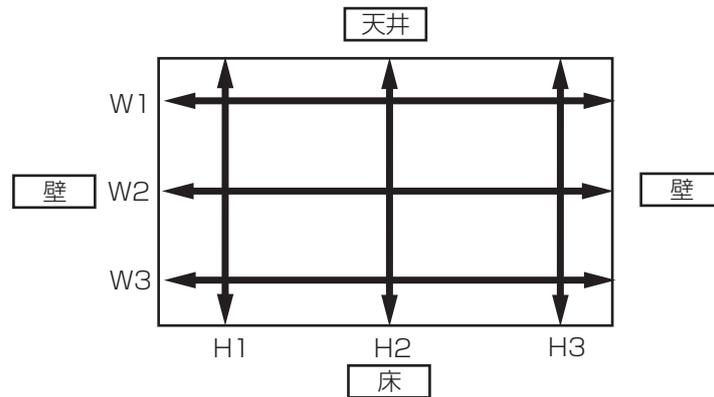
▲ 注意

- 設置及び移設予定個所には天井下地補強材が必要になります。ねじは必ず、天井下地補強材に止めてください。
- 天井下地補強材は40mm角以上の木材を使用してください。



4 設置場所の寸法測定

- ①. 設置場所のH1～H3、W1～W3の個所を測定し、精度がH：+ 8、- 5、W：±5であることを確認してください。



5 建築床の精度の確認

- ①. 建築床に凸凹や不陸のないことを確認してください。凸凹や不陸がある場合は取付けることができません。

6 建築壁の精度の確認

- ①. 建築壁に凸凹や不陸のないことを確認してください。凸凹や不陸がある場合は取付けることができません。